

「利他の心」

鳥取県 長清寺住職 東 雄康
ちようせいじ
あずま ゆうこう

この世の中は様々な「苦」に「満ちており、自分の望むように生きてゆくことは困難です。この「苦」は執着心、つまり「欲」から生じるものであり、それを防ぐ一つの手立ては、利己心を捨て相手の立場で考え行動することです。仏教では他を利することから「利他」と言います。

ある日のことです。私はご法事とお墓参りを終え、お檀家さんの車でお寺まで送って頂く途中でした。道は少々混んでおり、赤信号の手前では、前に数台の車列が出来ていました。やがて信号が青になり、前の車は次々に発進していきます。ところが、お檀家さんの車は動き出す気配がありません。すると、横の路地から一台の車が現れ、若いドライバーが申し訳なきように手を挙げ軽く会釈をして、前に入り走りだしたのです。それに続いて、お檀家さんの車も発進しました。「和尚さん、お待たせしましたね。前の車がなかなか入りにくそうでしたから、入れるように譲ったんです。でも、感謝されると悪い気はしませんよね」とお檀家さんは言いました。

しばらく走ると、また赤信号に差し掛かりました。すると前を走っていた先ほどの車が、少し早めに止まってコンビニの駐車場から出ようとする軽自動車に、お先にどうぞと譲っているところでした。年配の女性ドライバーが、満面の笑顔で会釈しています。私は、とても尊い瞬間を見ることができました。先を譲った二人のドライバー、お二人の人を利する気持ち、相手の立場で考え行動するという、まさに「利他の心」が伝わった瞬間でした。

ちなみに、英語にも Afteryou(お先にどうぞ)という表現があるそうです。エレベーターの乗り降りなど、相手を先に行かせてあげる時に使うそうです。自分より他を優先する。皆がそのことに喜びを感じるようになれば、世の中はもっと沢山の笑顔があふれるのではないのでしょうか。